









手數を要せず  
早く出来る物  
(三) 理學士 橋川郁氏談  
豊富なる製紙原料

の  
こして白貝鑛に仰い  
亂さ共に硝子業も全  
硝子は非常の騰貴を  
子會社は筑前戸畑に  
て其の製造に依り略  
滿たす目的で作業を  
原料たる珪砂は朝鮮  
山群島から仰いで居

田を以て農民組合を組織し、農民の利益を代表するものとする。

面の樂池を調査して果して之等設備も當局で爲すべきものなるかを此中である云々からいへば、この問題は解決するだらうから人の如きはそれなら折衷主義執つて當局の設備に對して當業が其の費用の幾分を分擔附する云々格でもよし成しは當局省設備しして當局の補助を受くる

再査を  
依るも  
十四隊  
六百八  
續左の  
致つ

農産品  
 共進會出品  
 最良なる事を洞察するに  
 長明通神  
 いふ客に  
 川次郎方  
 著に其  
 日夜哥兄  
 山下徳正  
 め拘引せ

本好三  
山町三  
帳を業  
は本年  
龍伊藤  
暴行  
永樓主

店製奈良達  
 本場み  
 右產地入荷品  
 命願上候  
 食料品  
 問屋

利口 市價 長電

きその他の各道にも多少の產出  
ある、その全產額は凡そ六百萬  
價格三十萬圓内外であらう、朝  
の地味風土は格樹の栽培に適し  
亦内地產品に譲らぬにも拘ら

成の曉に於て  
地たる濟士  
如きは自ら解決  
實業株式會社事務内藤龍吉  
將星の大


展  
輕　　る　は　て　し　か　海

千九百三十八噸、不食稻米一萬三千八百五十二噸を總ざり三等穀類中、於て來雜物多數の爲の再調を命ぜられたるもの一千七百九十三噸、乾葉の良もの百四十七噸、容量不足のもの九十五噸を算す之を各農倉所に配給せしむるに、  
附録(一)(二) CINCINNATI

新に下  
歩を  
つ、  
種が  
種は  
石八

收銀あり全道産額の約六  
 三割にて占め居れる盛況  
 以て將來製菓原料として  
 すぐ素質を有せし今そ  
 れで他を比較せば左の  
 如し  
 (東北)  
 (平河)  
 北館  
 京  
 値

地方

  
 花四十金りよ錢拾五  
 花圓拾金りよ錢拾五  
 薪  
 新明太  
 石油各  
 櫻正宗  
 櫻

明元 成 賣



皮の損傷が多いので精選の勞が  
 なるか比等紙を製せんにするには  
 きに過ぐるところから寧ろ強固  
 主として油杉紙、傘紙、湯突用油  
 等に製造すれば有益であらう、

なる 6  
頭 織  
東 部  
宣 宜  
から  
いミ

は一變した、

以來山東鐵道沿線並

支那官憲

支那佳民の日本官憲

度は實に非常なものもの

トに棲息すれば安全

財産は何等の危險を

叩した、彼等は競

の覺悟の程

備に八百石に過ぎず其生産地  
 して水原の五百七十五畝安城郡  
 百畝其他に三つ路地仁川七百  
 十七畝大坂八十四畝位に過ぎず  
 ◆輸移出大豆 韓幣四  
 田舎の景  
 管内を視察

大 池海池岡池岡

北の雄嶺は平雨より  
 ありて別に見るべき  
 のの如の雲流を望む  
 五里

(号北) (平市)

九二四六四六六八二  
 二二五〇六六二二  
 四六五〇八二  
 五五二三五七三三

哈爾濱市  
 廿四日正二時

北の雄嶺は平雨より  
 ありて別に見るべき  
 のの如の雲流を望む  
 五里

(号北) (平市)

九二四六四六六八二  
 二二五〇六六二二  
 四六五〇八二  
 五五二三五七三三

哈爾濱市  
 廿四日正二時

るが、地方自治の社  
置に、政院  
州まで  
るが、昨  
要する  
の理由  
をなす

廣く用  
 長太郎

男女

鏡で不完全、包茎、陰  
 器で子官病、不妊症、  
 活さハガキで照會あり  
 東京神田カチ町

經書  
特許  
無代  
田七



の色澤を利用して支那産の蠶糸を模造する事が出来る

寧ろ喜可なほめ

具々造ら 設

二分五厘位なりしが本年は一分  
厘にても更に希望者無く金貨  
は困難の結果積々轉業をなす狀  
也吉田晋州憲兵隊長は語る

力能

體壯等が留置後同十一日  
ダイナマイトを携へ込  
入したる無法者あり其次  
の紙上に報じたる事あり  
ぬ國の生

姓(シ)ワカ

金銀賞牌廿四個受領 ▲

酒に酒は  
せに種は



面は前日より約一二乃至廿の

連綿船上四客 十三  
日午後人港壹岐丸一二等客

池水幸太郎、金村義助、久保田ふさ、吉  
井道才

九月一日 十月止

[illegible]











立取引

（注意）縮せ十二月十五日、用紙半紙型、京城日報社編輯局年節増宛て投稿の事

立取引



100

100

10

有に歸して鎮火せるが其際重

3

村木時計舖京城支店 (振京城三一九)

<p><b>酒の肴には</b></p> <p>明太魚カラス 明太魚粕漬 明太魚桃漬</p>	<p><b>お吸物には</b></p> <p>鶴の味噌漬</p>	<p><b>德利盆には</b></p> <p>漢陽高麗燒</p>	<p><b>料理器には</b></p> <p>神仙燗鍋</p>	<p><b>器具には</b></p> <p>螺鈿漆器</p>	<p><b>甘黨には</b></p> <p>人蔘應用の菓子</p>	<p>漆器、陶器其他數百種の珍らしき朝漆名産を取揃へ陳列有之候間御立寄り御高覽被成下度候</p> <p>獨内地へ御送世に對しては迅速可仕候邊の手配可仕候</p> <p>京町二丁目 大邸元町一丁目 東京支店 馬場東四丁目 銀座本町七丁目 東京東區南橋本 朝鮮ホテル内 京城東區四軒町 京城黄金町三丁目</p> <p>(電話)二五〇八 (電話)三五五四 (電話)四四二二 (電話)九九二九 (電話)一七〇八 (電話)二〇六四</p>	<p><b>本市商會</b></p> <p>本 店 京城本町二丁目 第一支店 大邸元町一丁目 東京支店 馬場東四丁目 銀座支店 銀座本町七丁目 東京支店 東京東區南橋本 陶器工場 朝鮮ホテル内 螺鈿漆器工場 京城東區四軒町 京城黄金町三丁目</p>
---	----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	--	--

右者永平勤續中ノ處今回合意ノ上退店  
 獨立致候條終弊店同様御引立賜度此段謹  
 告候也  
 土月十三日  
 京城府本町二丁目  
 梶原末太郎商店  
 敬啓小生等梶原商店ノ生勤中ニ上  
 御厚情御引立ヲ蒙リ難有厚ク御禮申上  
 候今回合意ノ上同店ヲ辭シ獨立事ニ  
 從事致候條可卒舊御愛顧賜リ度此段  
 御禮芳々御願申上候  
 敬白  
 土月十三日  
 京城府本町四丁目一番地  
 永松喜久郎  
 土屋敷與惣造

永松喜久郎  
 中屋敷與惣造

忘年會  
 京城旭町一丁目  
 會席 借し  
 御料理 權平庵  
 中井ゆく  
 電話〇四六番  
 強仕候

眼科  
 京城黄金町  
 三丁目赤門通  
 (電車停留所前)  
 本田醫院  
 院長 本田建義  
 小兒科  
 京城旭町門病時疾療院  
 電話二四二番  
 電話三三八番

珍らしき  
 歳末年始御贈答品  
 愈々歳暮の必要が迫つてきました昨  
 に日本内地へのお歳暮は貨物停滯の  
 昨今なれば例年より少し早や目に  
 送りにならなければ折角の誠心をこ  
 めし贈物が時季を失します  
 賢明なる皆様方には最早や御贈  
 答品は御決定になりました事と  
 思ひます屹度第一番に海市へ御  
 下命になる事と御言葉のかゝる  
 のを待つて居ます



北島春石作 森田久畫

「何は何處でも借用したくない  
しして、男の意圖だ。もう  
一度、お前を（意圖）騙すの持物  
にせよば、世間、録しても願うけ  
さんのだ。」

「願うけされなかつたら……何で  
も御覧被るさ言つたら、わたし  
は何うする意だかまへ、それ  
から聞かせて貰ふせう。」

「町」ミ、紙師に狂木杉相違ひ  
く、懐念の筆を舞臺あめて「貴様  
を月曜にしにくればばかりだ。」

**●お歳暮は親切を贈れ**

お歳暮と申すと云ふ古くから  
の習慣に從つて物を贈ります事今迄  
には、粗形彫式に飾り易くて心の  
細つた親切な贈り物をすることに  
中々難しいものです又御正月や  
お歳暮には贈り物が先づ先に  
廻り渡つて飛んできた落着敗者を  
大例があります、それで贈り物の  
大切なる

◆要件 は心な籠めた親切な  
もので先方の事情をよく知つて居

の他に盛春や忠臣は一般の習慣で  
ありますから贈るが禮が差控へるが  
かさいふややうな説法がありません  
例は平常習慣不厭煩なりにも無  
顧客なきさまには贈物をして却  
つて逆體の手敷をかねねばならぬ  
と先方に思はせるやうになります  
から夫婦もよく見計らふことも必  
要です。

又、文藝會館復興の事に就て  
此の會館生れの昨年の十二月十日  
の内に決まり、今日まで今日まで何  
等以内に外務省の館長と現存あり  
かとの叫び聲を………一日二日で行  
くべき人か、ほんといふ節々……  
世界をめぐりて大平原は少タリ  
滑りました、天候は偉大な沈黙にかへ  
私達はその御かげと沈黙の底から出  
なければならぬといつて再び救ひそ  
なされて出来る、だの『』を與えなけれ  
ばなりません。

但し意味からして斯の邊に對して特  
に眞面目な御理問希望を一つ持つて  
おつしやるものと、兎角一人心地盛り  
つて御覧下さるものと、  
露・落指の爲に是非御出席を仰ぐたい。  
左の事を御承知下さって御出席如何は  
大至急御返答下さい、  
大正十一年一月廿四日草草主ハカサ  
一時所 南大門通り三丁ニカフエモータ  
（倉掛）四

[illegible]

例年の通り  
忘年会新年宴會  
は特に大勉強仕舞御  
用命仰付被下度候  
會席  
御料理 梅の家  
電話 七五五番  
電話 長七五番

★ 星  
御名刺印刷  
京城本町壹丁目  
守山印房  
電話 五九四番

美味なる  
虫下し

☆ 移專門 並に在留外國小販  
可遠達し調進可仕候  
山崎商店  
本町五丁目  
電話 二二番

一町本坂原

大阪屋號

いちばん番

1

ク

内各御用品の諸僧に献上社務に定歸り傳  
 入  
 よく  
 レ  
 入

美が止は

二年パン  
の英字刷印標格ゼリ  
手洗いに 用ゐる  
クラブ洗粉  
ほんこんさんせい  
本店謹製の

到所の文具店に目下  
 銀貨新貨中貴の値  
 な時最寄屋賣店を  
 御用金目録無代丁  
 本座兼國平時町一  
 日スパン六部山所

る事例へば種々複雑な家系をば  
歴史的に無難にならぬやうな物  
品を、又對に競争なお家でも美  
し飾つて目に立つやうな品を贈  
る心得が大切でせう。又實際の  
程度によつても考へねばならませ  
ん。それから同じ

◆金高 の品を贈るにも反動  
を買つて上げる事もある。金高  
のやうな小さなものを上げる場合も  
あります。これは皆贈る方の都合  
でなく先方の事情を考へて致す事  
です。又贈り物はには先方の

◆趣味 がさうであるか否  
を知つて置く事は目上の贈り物に  
は必要です。それ贈り物には先  
方よく知つて居る事が第一の秘  
訣で品物を贈るのに非論に乗ず  
た次に不自由の無い贈り物はよほ  
く。

能治王  
蟲毒  
近來想患なるもの物類出ずる處居の  
蟲と云ふ驚風の蟲

子巢ニセ七堂海大崎若

虫中諸症用蟲熱  
夜泣の蟲乳あまし  
蟲腹痛み疳熱の蟲  
蟲胸患く勞熱の蟲

▽由下最良藥  
巨野さんじくち  
▽開羅馬屋菓子  
向井 交泰堂馬屋堂  
本舖 岩崎大海堂  
▲内外兼店

定價  
五兩 十錢 廿錢 五十錢

# 最良藥

身クリームは素顔の  
の附を良くする品質  
をヤク止にして長くも  
購知用品

一町本坂原

大阪屋號

いちばん番

1

ク

内各御用品の諸價に賦上社務に定歸り傳  
 入  
 よく  
 レ  
 入

美が止は

二年パン  
の英字刷印標格ゼリ  
手洗いに 用ゐる  
クラブ洗粉  
ほんこんさんせい  
本店謹製の

到所の文具店に目下  
鎮守御役中貴の儀  
な時分寄附賣店を  
御用金目録無代を  
本座兼國平時町一  
日スワン六部山所